

行政評価について

行政評価とは・・・行政の政策・施策・事務事業について、その妥当性や達成度、成果などを統一的な基準で評価するもの



- 地方財政が悪化していく中で、2000 年前後から急速に地方自治体に広まっていったが、評価手法論的には確定されたものがない・・・
- 法的には実施義務はない・・・条例設置などは自治体の判断

<課題>

- 評価のための事務負担が大きい
- 評価結果が見えにくく、十分に活用されていない
- 事業の進捗管理や予算との連動が難しい
- 事業ごとの性質の差が大きく、統一的な基準での評価が困難
 - ・・・義務的な事業と任意の事業、プロジェクトとルーティンなど



評価のサイクルが継続的に回らない・・・

<めざすべき評価システム>

- 持続できるシステム構築
- 事務負担が過大にならないように
- 評価することが目的になってしまわないように
- わかりやすくまずは大きな視点（単位）で評価できるように
 - ・・・細かい視点はサイクルを回す中で付け加えていけばよい

<留意点>

- 評価対象とするロードマップへの掲載事業には明確な基準を設けていないため、抽出単位が適切かどうか
- 評価項目の設定と評価基準の設定が適切か
- 評価に際して、事業の説明項目は十分か など



- 持続的に評価のサイクルが回っていくことを重視しシステムを構築する
- サイクルを回す中で継続的かつ発展的な改善を行っていく